

授業科目名	<b>慢性看護Ⅱ</b>			担当教員	山本 孝治、中村 光江、 西山 陽子
開講年次	2年後期	セメスター	4	時間数(単位数)	30 (1)
必修選択	必修	授業形態	演習	使用教室	
授業の目的	慢性疾患の予防からセルフケア、患者会の運営、セルフケアグループの役割など、個および集団への指導や援助方法を習得する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 様々な慢性疾患の特徴と生活への影響を理解する。</li> <li>2. 慢性病の管理に影響する要因をアセスメントできる。</li> <li>3. 慢性病の予防から終末期までの具体的な援助方法を理解する。</li> <li>4. 事例を通して、慢性病をもつ人と家族への看護を具体的に考察できる。</li> </ol>				
授業計画					
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者
1	オリエンテーション (科目, 事例演習) 事例, 個人課題配布 対象理解を深める具体的方法 病みの軌跡の聴き取りの振り返り	講義 演習	予習: 病みの軌跡聴き取りの振り返り, 復習: 提示された事例演習の展開	2 時間	山本
2	免疫系障害とともに生きる人への看護 関節リウマチ 全身性エリトマトーデス ステロイド療法	講義	予習: テキスト p133-141,378-397 必読	1 時間	山本
3	代謝・内分泌系障害とともに生きる人への看護 (1) 糖尿病	講義	予習: テキスト p106-114,307-318 必読	1 時間	山本
4	代謝・内分泌系障害とともに生きる人への看護 (2) 糖尿病	講義	予習: テキスト p106-114,307-318 必読	2 時間	山本
5	小テスト (免疫系障害・糖尿病) 慢性病とともに生きる人の家族への支援 サポートグループ, セルフケアグループの役割	講義	予習: 小テスト準備 テキスト p98-103 必読 復習: 指定された事後課題を行う	1 時間	山本
6	試験のフィードバック 慢性病予防およびセルフケアのための学習支援・行動変容支援の具体的方法 (1) 指導案の作成	講義 演習	予習: 「健康行動論」を復習しておく テキスト p76-87 必読 復習: 指定された事後課題を行う	2 時間	山本 中村 西山
7	慢性病予防およびセルフケアのための学習支援・行動変容支援の具体的方法 (2) 指導案の作成	講義 演習	予習: 「健康行動論」を復習しておく テキスト p76-87 必読 復習: 指定された事後課題を行う	3 時間	山本 中村 西山
8	性機能障害とともに生きる人への看護 前立腺がん 女性生殖器	講義	予習: テキスト p.346-353. 事前配布資料	1 時間	中村
9	事例演習 (1) グループ	演習	予習 (個人): アセスメント・看護計画作成 復習 (グループ): 看護計画の修正	2 時間	山本 中村 西山

10	事例演習 (2) グループ	演習	予習・復習：看護計画の見直しと修正	2 時間	山本 中村 西山
11	事例演習 (3) グループ	演習	予習・復習：看護計画の見直しと修正	2 時間	山本 中村 西山
12	事例演習 (4) グループ 発表 準備	演習	予習・復習：計画の見直しと修正	2 時間	山本 中村 西山
13	事例演習 (5) 発表 ロールプ レイ	演習	予習：計画修正 復習：発表および看護計画の評価	2 時間	山本 中村 西山
14	事例演習 (6) 発表 ロールプ レイ	演習	予習：計画修正 復習：発表および看護計画の評価	2 時間	山本 中村 西山
15	事例演習の振り返り、フィードバック まとめ	講義	復習：全体の振り返り	1 時間	山本 中村 西山
先行履修 科目					
テキスト	鈴木久美, 野澤明子, 森一恵 編：成人看護学 慢性期看護 病気とともに生活する人を支える 第2版, 南江堂, 2015.				
参考文献	鈴木志津枝 編：慢性期看護論 第3版. ヌーヴェルヒロカワ, 2014. 森山美知子 編：新しい慢性疾患ケアモデル デジーズマネジメントとナーシングケースマネジメント. 中央法規出版, 2007. 日本糖尿病学会 編：糖尿病食事療法のための食品交換表第7版. 文光堂, 2013. 日本糖尿病教育・看護学会 編：糖尿病に強い看護師育成支援テキスト. 日本看護協会出版会, 2008. 福井トシ子 監修：ライフステージから理解する糖尿病看護—事例で学ぶアセスメントのポイント—. 中央法規, 2013.				
科目の 位置づけ	慢性看護 I での基本的な学びをもとに、慢性病とともに生きる人への援助をより具体的レベルで展開する方法について考察し、看護実践につなぐための科目である。				
ディプロマポリシー との関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
		○		◎	
評価方法	小テスト (10%)、演習の課題 (80%)、授業への参加 (10%) で総合的に評価する。 小テストは第 5 回に実施する。再試験は実施しない。 演習の課題の内訳は、指導案の作成 (20%)、事例演習 (60%) とする。				